



横断歩道橋のあり方の検討

平成26年2月19日

静岡県 交通基盤部 道路局

県民くらし満足度日本一の実現に向けて“みちづくり”

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

○スケジュール(案)

第2回 静岡県道路技術審議会 (H25. 2. 1)

◇ 「横断歩道橋のあり方の検討」の背景



第3回 静岡県道路技術審議会 (H25. 10. 23)

◇ 撤去判断基準(案)、撤去・存続判定フロー(案)



第4回 静岡県道路技術審議会 【H26. 2. 19】

- I 基礎(現状把握)調査結果の報告
- II 撤去・存続判定フロー(案)の提案
- III 基礎(現状把握)調査結果に基づく対応



第5回 静岡県道路技術審議会 【H26上半期】

◇ 横断歩道橋の撤去に関する手引き(案)の提示



【平成26年度中】横断歩道橋の撤去に関する手引きのとりまとめ

I 基礎（現状把握） 調査結果の報告

＜調査対象＞ 県が管理する115基の横断歩道橋

＜調査内容＞

①近隣状況調査

自動車交通量、道路幅員、土地利用の変遷、公共施設、通学路の有無とルート、近隣の横断歩道・信号機等の設置状況、緊急輸送路・緊急輸送ルート

②利用状況調査

方向別利用者数を観測（子供、大人、乱横断者等）

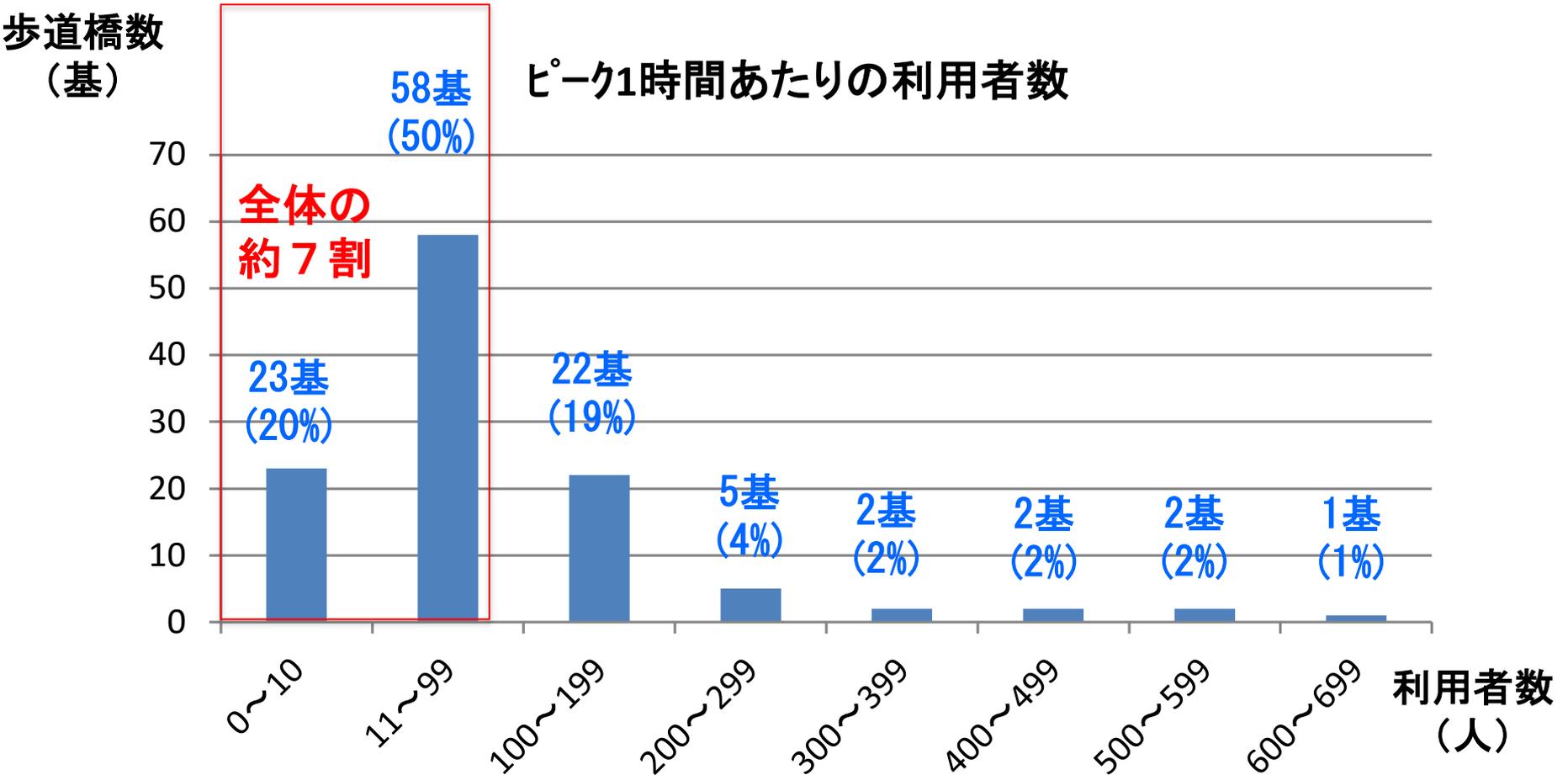
③劣化状況調査

国土交通省「総点検実施要領（案）【横断歩道橋編】・【橋梁編】に則り、近接目視を基本とした劣化状況調査

I 基礎（現状把握） 調査結果の報告

【 利用状況（利用者数） 調査結果 】

○全体の約7割が横断者数（ピーク1時間）100人未満

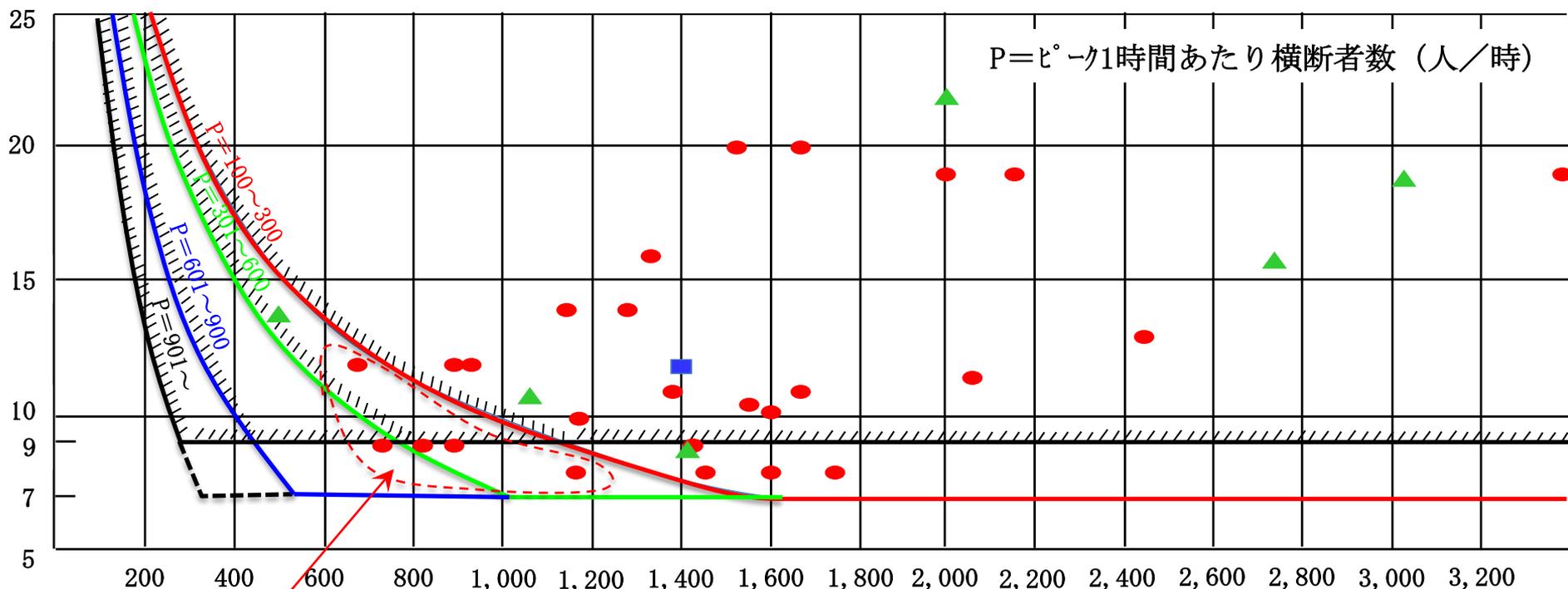


I 基礎（現状把握） 調査結果の報告

○ピーク1時間あたり横断者数100人以上の横断歩道橋34橋（全115橋中）のうち、約2割の箇所の必要性が低い

横断幅員
(m)

立体横断施設技術基準・同解説における立体横断施設設置基準



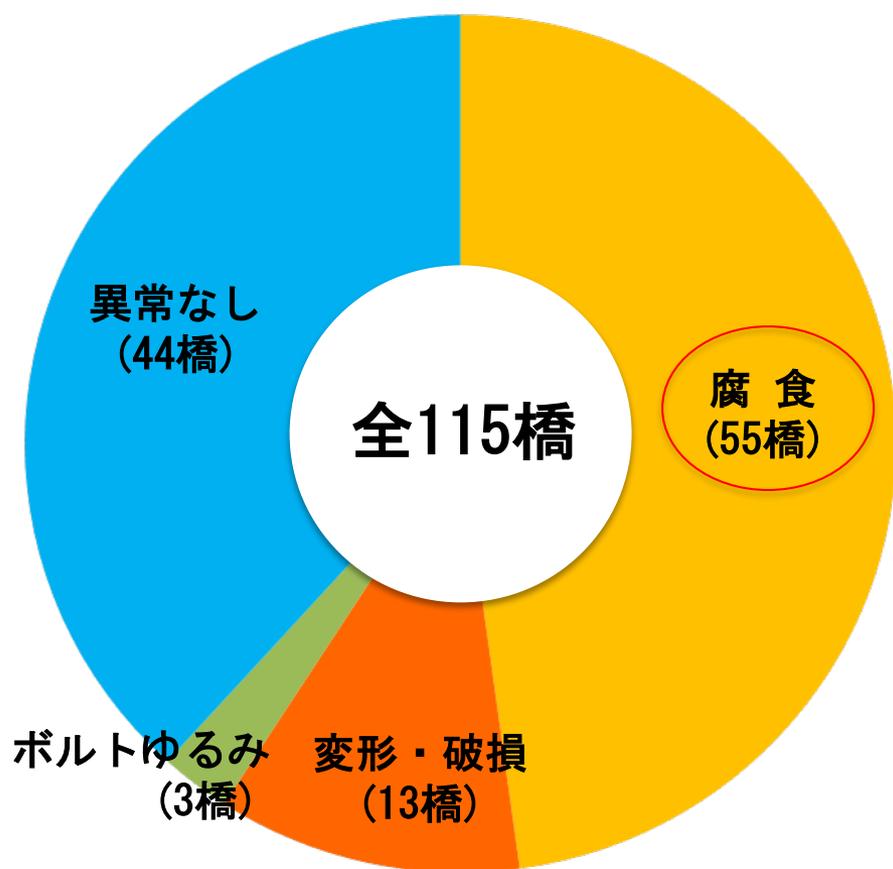
必要性が
低い箇所

- P=100~300 人/時の場合
- ▲ P=301~600 人/時の場合
- P=601~900 人/時の場合
- × P=100人/時以下の場合

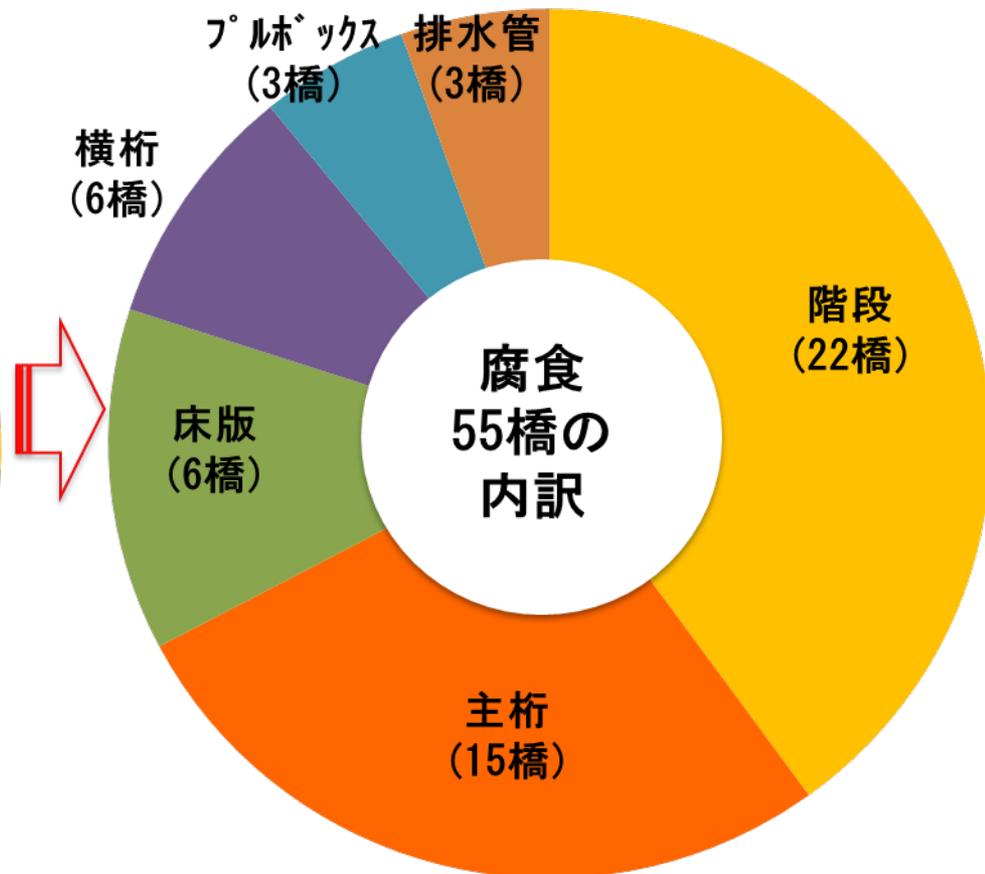
I 基礎（現状把握） 調査結果の報告

【劣化状況調査結果】

○全体の約6割に損傷あり。主に階段・主桁の腐食が多い



【115橋の主な損傷状況】



【主な腐食部位】



Ⅱ 撤去・存続判断フロー（案）の提案

【第3回道路技術審議会での意見】

- **地元の定義**を明確にし、**地元要望**を優先すべき
- **少数意見**への配慮も必要
- 視認性、防犯対策、環境の**判断基準**が曖昧
- **過去の事故事例**などもチェックする
- **走行視認**という観点も重要
- **防災**の視点も必要
- **費用対効果**も検討する必要あり
- 観光のための利用など**付加価値**要素もある
- **プライオリティ**をつけて対応することが必要
- 横断歩道橋を**設置した理由**を調べておく必要がある
- **点数制**の導入を導入するのがいいのでは



調査結果、審議会での意見を参考に「キーワード」を抽出



Ⅱ 撤去・存続判断フロー（案）の提案

【撤去・存続を判断する上でのキーワード】

○定量的キーワード

（調査結果の数値が必要性の判断材料となる項目）

- 利用者数・自動車交通量・道路幅員

○定性的キーワード

（必要性の判断をするうえで関係者※との協議を要する項目）

※地元（地元自治会・町内会等）、県警、教育委員会、市町等

- 通学路
- 代替機能の確保
- 交通事故の抑制
- 自動車交通円滑化
- その他（環境・防犯対策・道路改良計画・老朽化等）

II 撤去・存続判断フロー（案）の提案

○地元の発意、道路管理者の発意によるケースを想定

地元要望

※地元:地元自治会・町内会等

道路管理上、検討が必要となった場合

※道路改良、老朽化等

A 存続判断基準

以下の項目にすべて該当？

- ①ピーク1時間あたりの利用者数が100人以上
 - ②往復合計交通量・横断幅員・横断者数の関係図
- ※立体横断施設技術基準・同解説

**定量的
判定**

YES

存続

NO

B 地元・関係機関との協議

※関係機関:県警・教育委員会・市町等

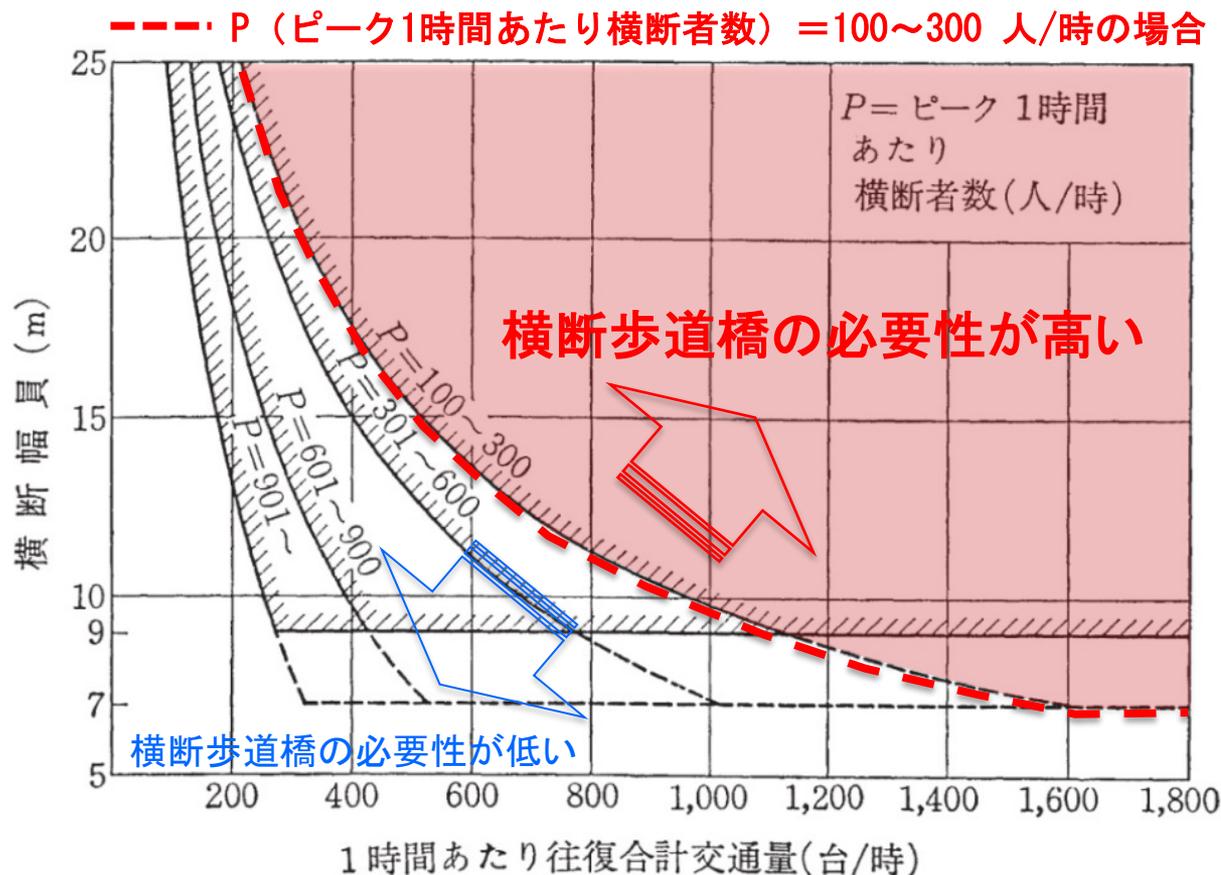
**定性的
判定**

II 撤去・存続判断フロー（案）の提案

A 存続判断基準

「立体横断施設技術基準・同解説」の基準を引用

- ① 利用者数がピーク1時間当たり100人以上
- ② 横断者数と交通量、横断幅員の関係図により、横断歩道橋設置の必要性が高い（図の赤色側に該当）





II 撤去・存続判断フロー（案）の提案

B 地元・関係機関との協議 ※関係機関：県警・教育委員会・市町等

【協議体制】

- ・構成メンバー：地元、県警、教育委員会、市町等
- ※地元や行政等各方面の考え方や意見を集約し、総合的に判断する。

【主な協議ポイント】

- ①通学路指定
※通学路の変更についても検討する。
- ②代替機能の確保
※横断歩道や信号機の設置、バリアフリー化等についても検討する。
- ③交通事故の抑制
※利用率、視認性等についても検討する。
- ④自動車交通の円滑化
※渋滞対策等についても検討する。
- ⑤その他
※環境、防犯対策等についても検討する。



II 撤去・存続判断フロー（案）の提案

【主な協議ポイント】

① 通学路※指定

※児童又は幼児が小学校等に通うために通行する道路の区間

- 通学路指定の有無
- 通学路の変更 ⇒ 通学路の変更の可否
- 中学校、高校、大学、専門学校等への通学ルートの確認

図-1

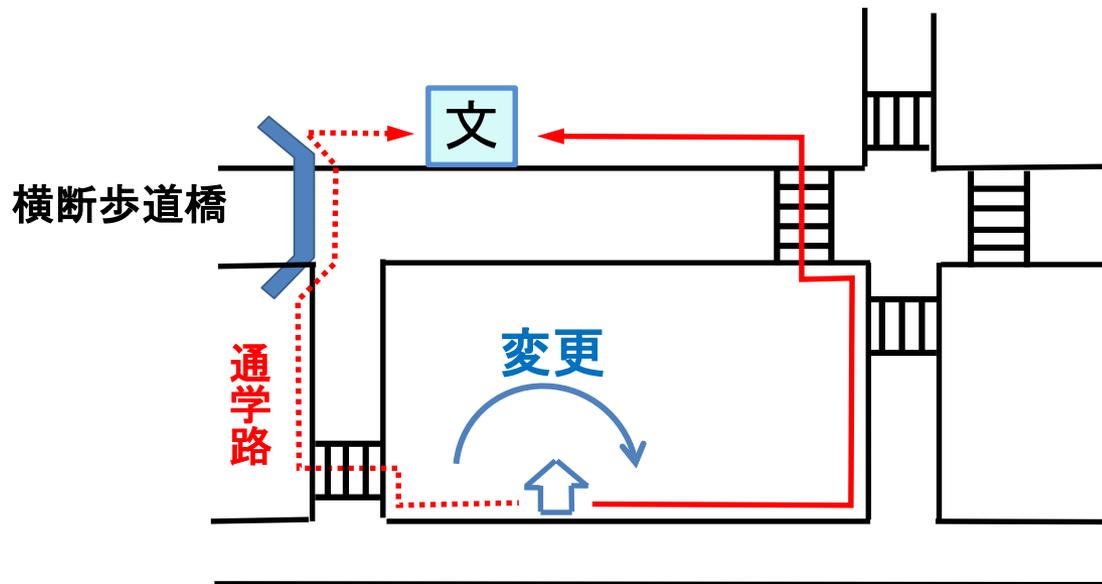


図-1

II 撤去・存続判断フロー（案）の提案

【主な協議ポイント】

② 代替機能の確保

➤ 横断歩道や信号機等の設置

⇒周辺の横断歩道橋に代わる安全施設（横断歩道や信号機等）の有無
または新たな設置が可否。

➤ バリアフリー化の検討

⇒代替ルートへのバリアフリー化の必要性

※横断歩道橋のバリアフリー化（エレベーター等）は存続方針決定後に検討

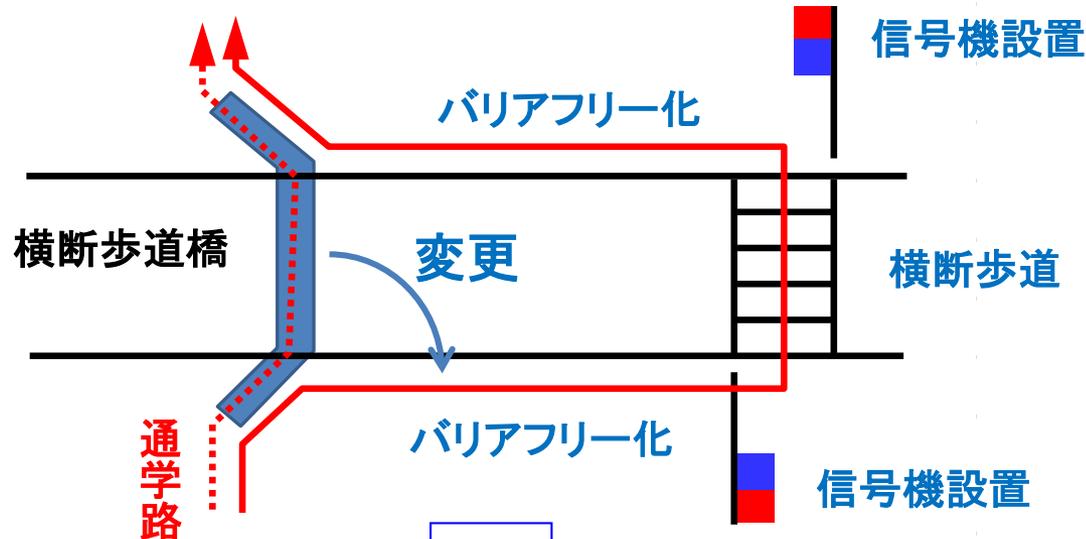


図-2

図-2

II 撤去・存続判断フロー（案）の提案

【主な協議ポイント】

③ 交通事故の抑制

➤ 利用率 図-3

⇒利用率が低い（≡乱横断者が多い）と交通事故の危険性が高い可能性がある。

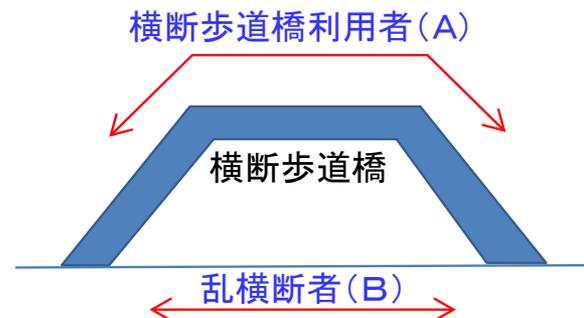
➤ 視認性

⇒交差道路から車両が進入する場合や自転車が自歩道上を走る場合に、橋脚や階段部が走行視認の障害になる場合あり。

➤ 過去の事故履歴

⇒横断歩道橋設置以前の重大な事故の発生履歴を調査。
または設置後に事故が発生履歴。
事故と歩道橋の位置等の因果関係。

図-3



$$\text{利用率(\%)} = \frac{\text{横断歩道橋利用者数(A)}}{\text{横断歩道橋利用者数(A)} + \text{乱横断者数(B)}} \times 100$$





Ⅱ 撤去・存続判断フロー（案）の提案

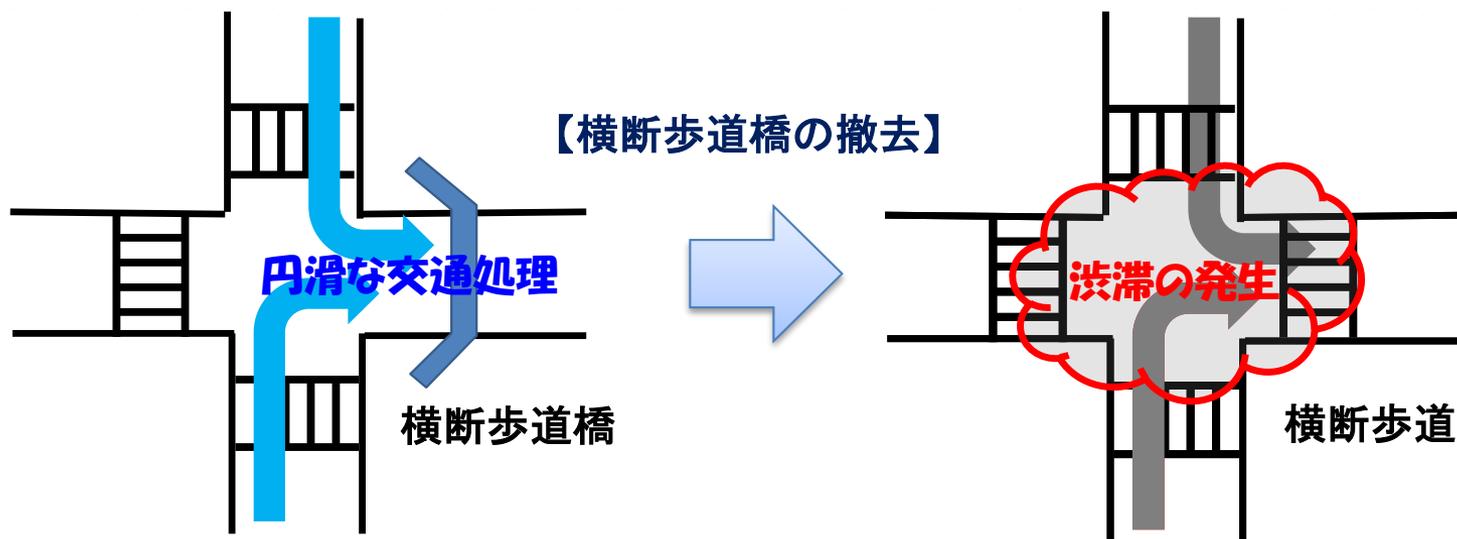
【主な協議ポイント】

④ 自動車交通の円滑化

➤ 渋滞対策

⇒横断歩道橋により渋滞解消が図られていないか？

また、横断歩道橋を撤去することにより渋滞が発生しないか？



II 撤去・存続判断フロー（案）の提案

【主な協議ポイント】

⑤ その他

➤ 面的な指定区域

⇒ あんしん歩行エリア、ゾーン30
くらしのみちゾーン等の
交通安全重点整備区域、
国立公園、風致地区等の景観地区

➤ 環境対策の必要性

⇒ 景観への配慮
死角へのゴミ投棄等

➤ 防犯対策の必要性

⇒ 防犯上の課題
(死角の存在や夜間の防犯対策)



あんしん歩行エリア: 市街地の生活道路で交通事故被害が多い地区を指定し、交通安全対策を重点的に実施するエリア

横断歩道橋がエリア内の交通安全対策に寄与

II 撤去・存続判断フロー（案）の提案

【主な協議ポイント】

⑤ その他

➤ 緊急輸送路

（緊急輸送ルート）

⇒地震時の輸送路の確保

第4次地震被害想定による

津波想定浸水域

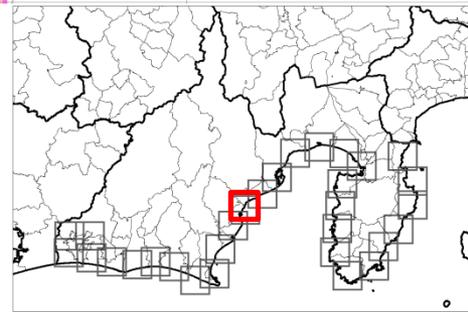
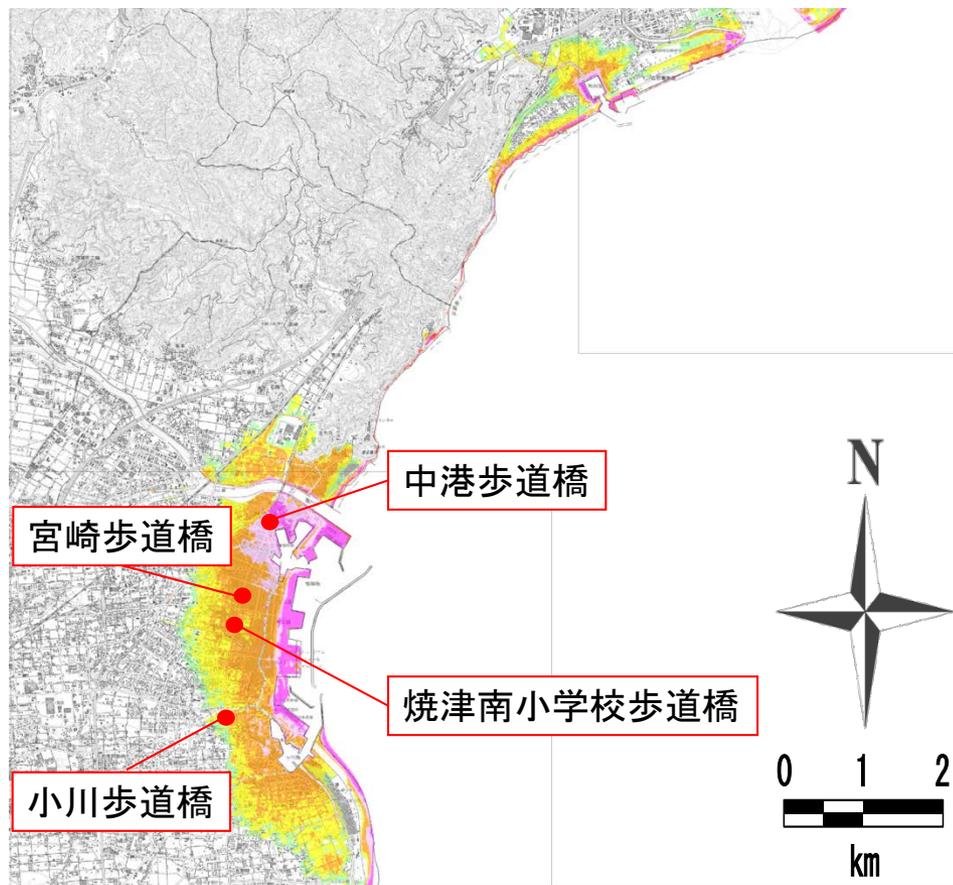
防災上の課題等の有無

➤ 老朽化

⇒老朽化により歩行者や自動車の

安全な通行に支障がないか

東海・東南海・南海地震 最大浸水深図(焼津市)



Ⅱ 撤去・存続判断フロー（案）の提案

【主な協議ポイント】

⑤ その他

➤ 道路改良計画

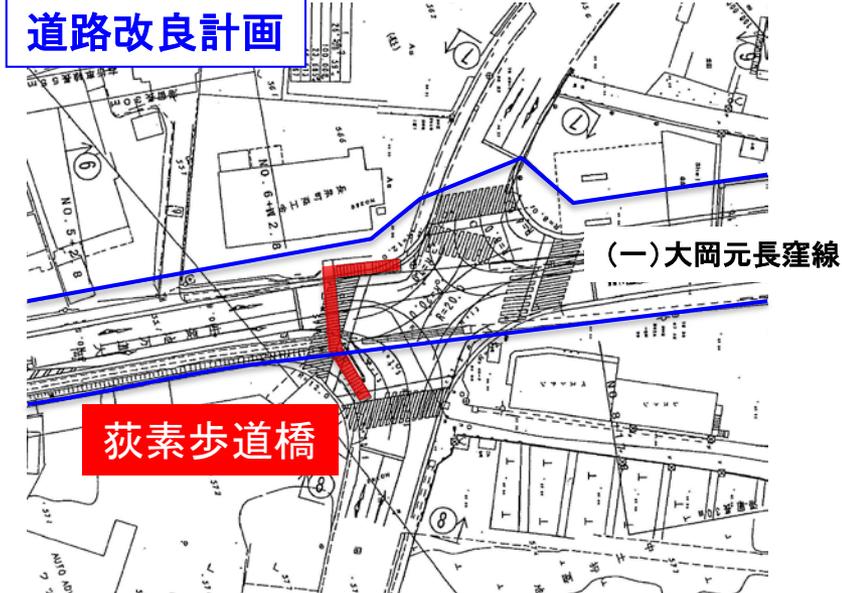
⇒道路改良計画
（交差点改良やバイパスの計画）

➤ 利活用（施設への動線）

⇒公共施設（公園、体育館、病院等）、
大型商業施設、工業団地等への
動線（アクセスルート）としての利用

➤ 公共交通機関

⇒駅やバス停等の公共交通機関と連結
しての利用



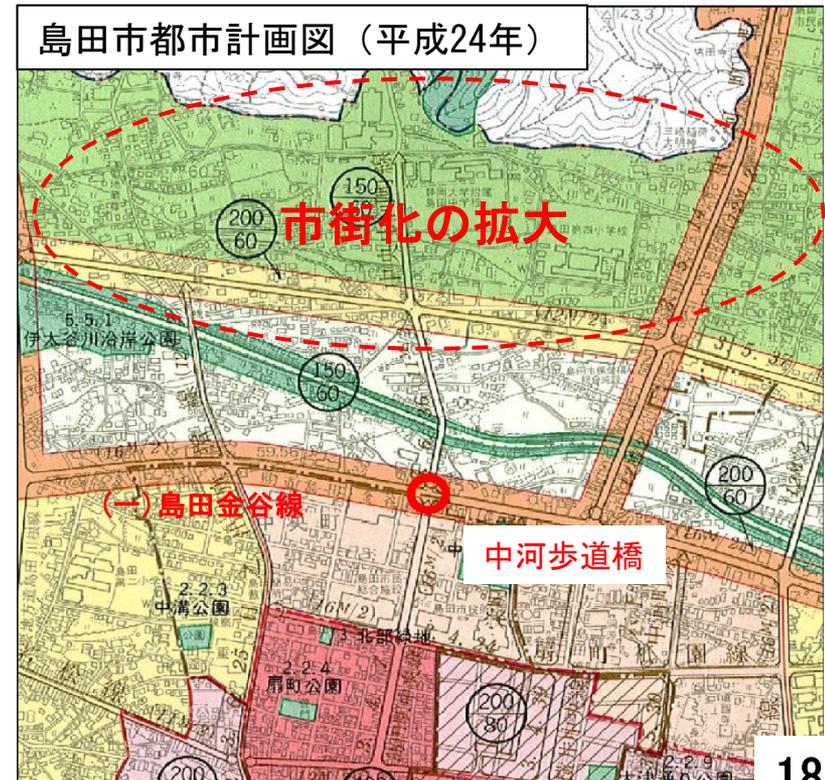
II 撤去・存続判断フロー（案）の提案

【主な協議ポイント】

⑤ その他

▶ 土地利用の変化

⇒横断歩道橋設置当時の土地利用の変化（利用者の変化）





Ⅱ 撤去・存続判断フロー（案）の提案

横断歩道橋の撤去に関する手引き（案）

- 1 目的
- 2 横断歩道橋の現状と課題
- 3 撤去・存続判断フロー
 - ・ 存続判断基準
 - ・ 主な協議ポイント
- 4 添付資料
 - ・ 全国アンケート調査結果
 - ・ 平成25年度 基礎（現状把握）調査結果
 - ・ その他調査資料（地元要望調査、撤去事例調査）

Ⅲ 基礎（現状把握） 調査結果に基づく対応

- 調査結果では、115橋のうち87橋が協議の可能性あり
- 今後、地元要望等がある場合、地元・関係者と協議を行う

県が管理する115基の横断歩道橋

存続判断基準

以下の項目にすべて該当？

- ①ピーク1時間あたりの利用者数が100人以上
 - ②往復合計交通量・横断幅員・横断者数の関係図
- ※立体横断施設技術基準・同解説

28橋 (24%)

YES

存続

NO

87橋 (76%)

地元・関係者
との協議

Ⅲ 基礎（現状把握） 調査結果に基づく対応

【大瀬歩道橋】劣化状況調査結果

存続判断基準

ピーク1時間あたり		横断幅員(m)
利用者数(人)	往復合計交通量(台)	
12	277	8

現況写真



劣化状況

上部工（主桁）の損傷



上部工（床板）の損傷



下部工（橋台）の損傷



下部工（橋脚）の損傷



地元・関係機関との協議

Ⅲ 基礎（現状把握） 調査結果に基づく対応

【上船原歩道橋】劣化状況調査結果

存続判断基準

ピーク1時間あたり		横断幅員(m)
利用者数(人)	往復合計交通量(台)	
3	547	9

地元・関係機関との協議

現況写真



劣化状況

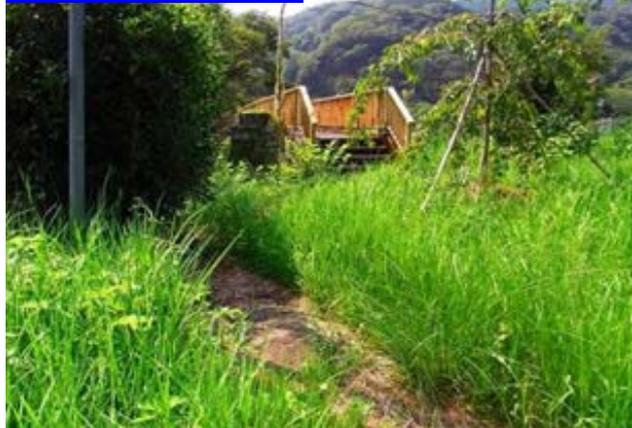
上部工（主桁）の腐食



高欄の腐食



使用頻度の低下



使用頻度の低下



Ⅲ 基礎（現状把握） 調査結果に基づく対応

○劣化状況調査により、115橋中2橋において検討が必要

【老朽化に伴う検証結果】

事務所名	横断歩道橋名	老朽化の状況	老朽化に伴う検討の必要性	存続判断基準（※1）			検証結果
				ピーク1時間あたり		横断幅員 (m)	
				利用者数 (人)	往復合計 交通量 (台)		
下田	大瀬歩道橋	<ul style="list-style-type: none"> ・上部工（主桁）のコンクリート剥離。 ・下部工（橋脚）のコンクリート剥離。 ・下部工（根巻きコンクリート）の剥離。 ・下部工（橋台）の基礎露出。 ・階段部のコンクリート剥離。 ・支承の破損。 	○	12	277	8.00	協議
沼津	上船原歩道橋	<ul style="list-style-type: none"> ・上部工（主桁）の著しい腐食。 ・下部工（橋脚）の著しい腐食。 ・階段部の著しい腐食。 ・高欄の著しい腐食。 	○	3	547	9.00	協議

（※1） ピーク1時間あたりの利用者数100人以上、かつ、往復合計交通量・横断幅員・利用者数の関係図に該当



老朽化が著しい2橋について、今後、地元及び関係機関との協議を実施し、撤去・存続の検討を実施する

III 基礎（現状把握） 調査結果に基づく対応

地元要望

※地元：地元自治会・町内会等

道路管理上、検討が必要となった場合

※道路改良、老朽化等

存続判断基準

以下の項目にすべて該当？

- ①ピーク1時間あたりの利用者数が100人以上
- ②往復合計交通量・横断幅員・横断者数の関係図

※立体横断施設技術基準・同解説

28橋 (24%)

YES

存続

NO

87橋 (76%)

【老朽化】2橋

地元・関係者
との協議

事故履歴図 (H8~H23)

30 上船原歩道橋



事故履歴図 (H8~H23)

03 大瀬横断歩道橋



Ⅲ 基礎（現状把握） 調査結果に基づく対応

【大瀬歩道橋】 調査結果



存続判断基準

存続判断基準

ピーク1時間あたり		横断幅員(m)
利用者数(人)	往復合計交通量(台)	
12	277	8

劣化状況

上部工（主桁）の損傷



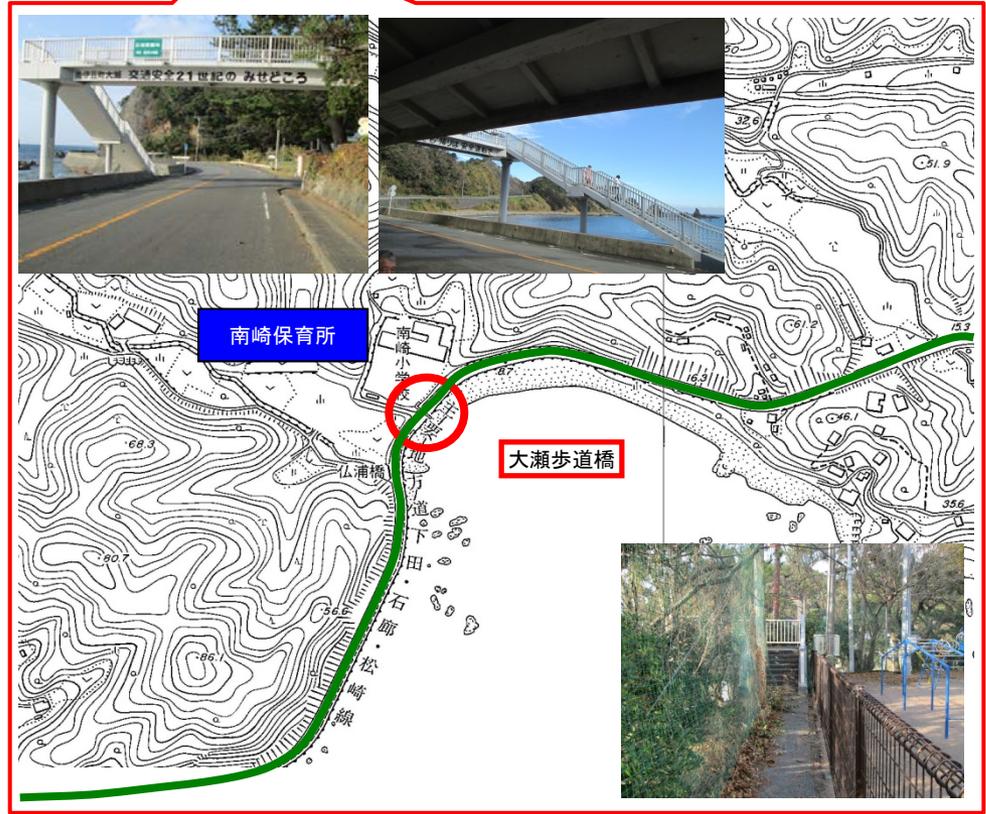
上部工（床板）の損傷



下部工（橋台）の損傷



下部工（橋脚）の損傷



Ⅲ 基礎（現状把握） 調査結果に基づく対応

【上船原歩道橋】 調査結果



存続判断基準

ピーク1時間あたり		横断幅員(m)
利用者数(人)	往復合計交通量(台)	
3	547	9

劣化状況

上部工（主桁）の腐食



高欄の腐食



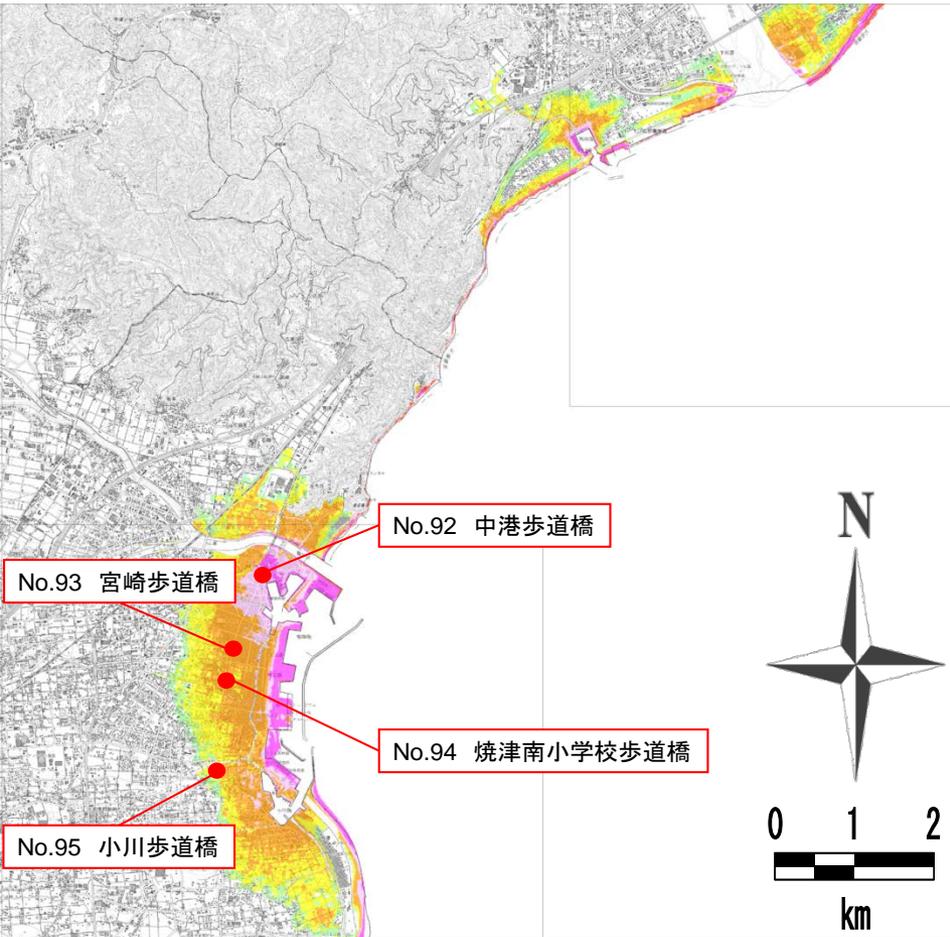
使用頻度の低下



4 御殿場市新橋地区

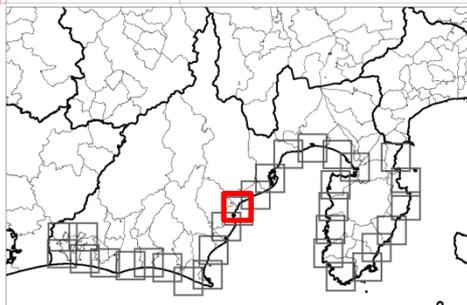


9 焼津市 (2/2)

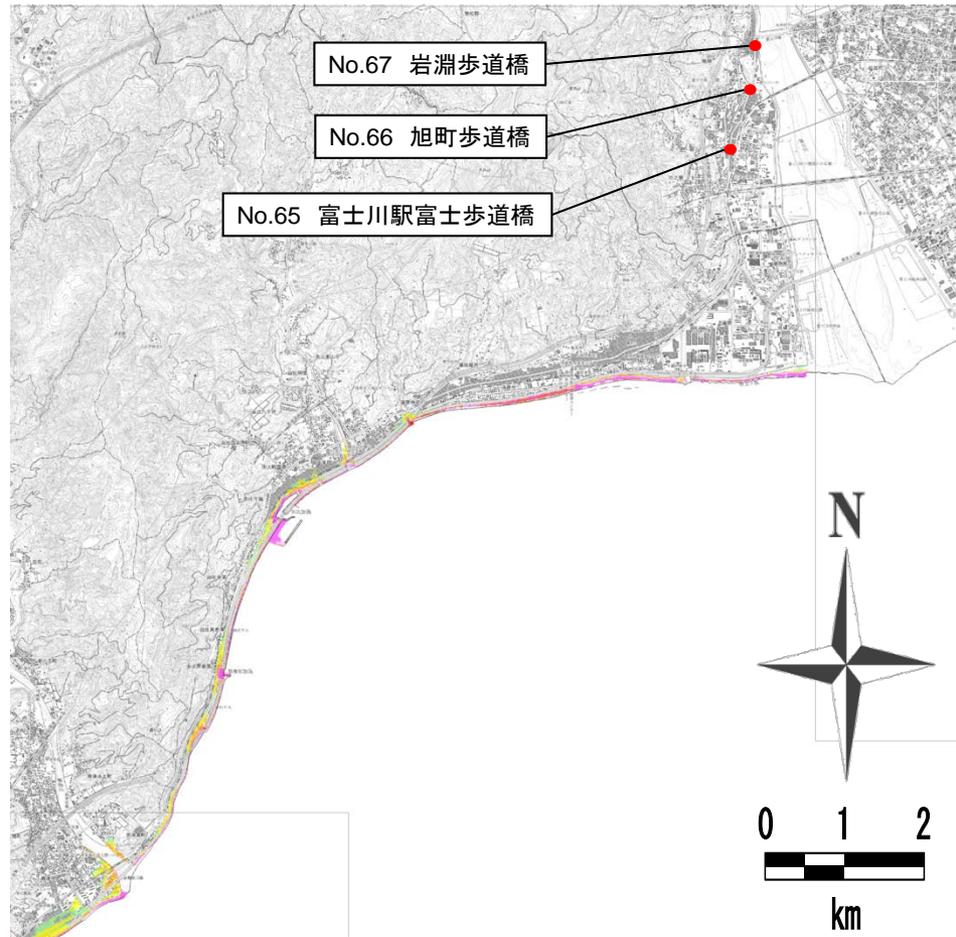


最大浸水深 (m)

20 以上
10 - 20
5 - 10
3 - 5
2 - 3
1 - 2
0.3 - 1
0.01 - 0.3



10 富士市 (1/2)



最大浸水深 (m)

20 以上
10 - 20
5 - 10
3 - 5
2 - 3
1 - 2
0.3 - 1
0.01 - 0.3

